

交流センターだより



No.178
令和6年
1月号

おおとし

大歳地域交流センター
公式X(Twitter)アカウント

発行 大歳地域交流センター TEL 922-4035 FAX 922-4036 人口 14,120 世帯数 6,991
開館時間 8時30分~17時15分 (行政窓口 TEL 922-2461) 令和5年12月1日現在

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、大歳地域交流センター主催講座をはじめ、各種事業や行事等にご協力を賜り、誠にありがとうございました。

お陰様で、充実した事業活動を行うことができました。

本年も、昨年より増して、地域の皆様により親しまれ、愛される地域交流センターを目指し、職員一同さらに努力して参ります。これまで以上に皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

大歳地域交流センター 職員一同



地区社協からのお知らせ 太陽クラブからのお知らせ



恵方巻を作ろう！



節分の夜に、その年の恵方に向かって黙って願いごとをしながら食べると厄除けになる、願いごとが叶うという太巻き「恵方巻」を作ってみませんか！？

日時：令和6年2月3日(土)
9時30分~11時30分
(受付9時00分~)

場所：大歳地域交流センター
調理室・講座室

定員：先着24名程度(1組1~3名)
※要申込

対象：年齢制限なし！

※子どもさんは、なるべく親子でご参加ください

※グループ分けは事務局でさせていただきます

参加料：無料

持参物：マスク、三角巾、エプロン

申込先：大歳地区社会福祉協議会
(083-920-1700)

申込期間：令和6年1月15日(月)~1月26日(金)

※9時00分~17時00分の間にお電話ください

2月の節分にちなんで、巻き寿司を作ります。大歳地区食生活改善推進協議会の皆さんが巻き寿司のコツを教えてくださいます。自分で作った巻き寿司はお土産です！

巻き寿司作りの後には鬼がやってくるかも？！お楽しみに☆

※日時：令和6年1月19日(金)10時00分~

※内容：恵方巻き作り&豆まき

※場所：大歳地域交流センター 和室

※参加費：1家族100円

※持ち物：エプロン、三角巾、まきす(持っている方)、飲み物

※募集人数：未就園児の親子10組程度

※申込先：水原(090-4897-5649)

※申込締切：令和6年1月17日(水)



大歳地区ソフトバレーボール大会結果報告

大歳小学校地域参観日のご案内

11月26日(日)大歳小学校体育館にて開催しましたソフトバレーボール大会の結果を報告します。



【A級トーナメント】

- 優勝 岩富A
- 準優勝 下湯田・上矢原合同分館
- 3位 下矢原、今井下

【B級トーナメント】

- 優勝 中矢原(藍)



優勝：岩富
のみなさん



大会の様子

大歳小学校は地域とともにある学校を目指したコミュニティースクールです。

本年度は本校の教育活動を地域の皆様にも積極的に公開したいと考えています。

ご多用のこととは存じますが、ご都合のつかれる時間帯に遠慮なくご来校いただき、ご参観くださいますようお願い申し上げます。

- 日時 令和6年2月2日(金)
12時55分～14時40分
- 日程 12時55分～13時35分 昼休み
13時35分～13時50分 掃除
13時55分～14時40分 授業参観

その他

- 玄関で受付を済ませて校舎内にお入りください。
- 校内および学校周辺の施設(交流センターなど)には、駐車場はありません。お車をご利用の際には、維新公園第11駐車場(県立山口総合支援学校入口)【12時00分～17時00分】をご利用ください。
- 上履きは、各自ご持参ください。

みんなのひろばからのお知らせ

飼い主のいない猫不妊去勢手術費助成制度説明会

①「みんなのひろば」1月のお知らせ

- ◆内容 ・大人も子どもも正月あそび
・おぜんざいでお接待
- ◆日時 令和6年1月20日(土)
13時30分～15時30分
- ◆場所 大歳地域交流センター 講堂
- ◆参加費 100円

②「お花づくり」お手伝いください。

- ◆日時 令和6年2月
(5日・12日・19日・26日)
いずれも9時00分～12時00分
- ◆場所 大歳地域交流センター 講堂
- ◆持参物 工作はさみ、ボンド、お手拭き

※①、②いずれも申込不要です。お問い合わせは大窪(080-2904-8193)までお願いします。



飼い主のいない猫による生活環境課題について、助成制度を交えて説明会を開催します。

- 日時 令和6年2月6日(火)
15時00分～16時00分
- 場所 大歳地域交流センター 講堂

対象

- ・飼い主のいない猫を保護し適正飼養しようとする個人
 - ・TNR活動を行おうとする団体
 - ・地域猫活動を行おうとする地域
- ※団体・地域の方は、2名以上でのご参加を推奨します。

定員 50名(先着順) ※要申込
申込先 環境衛生課
(083-941-2176)

申込期限 令和6年1月31日(水)





子どものネット・ゲーム 親としてどう向き合う？ ～意外と知らない子どもの世界～



ネットで世の中が便利になった反面、子どもを取り巻くネット環境には危険が潜んでいます。子どもをそのような危険から守る方法やネットとの上手な付き合い方、依存に陥らないために親が早く気付くためにはどうしたらいいのかを一緒に考えていきましょう。



「インターネット・ファミリールール」を作るときのコツやポイントについてもしっかりと学びましょう。



- 【日 時】 令和6年2月6日(火) 10時～12時
- 【場 所】 小郡ふれあいセンター (小郡下郷 1440-1)
- 【講 師】 岡村 真紀 氏
(医療法人信和会 高嶺病院 精神保健福祉士)
- 【対 象】 小・中学生の保護者30人程度
- 【持ち物】 筆記用具
- 【託 児】 無料(要申し込み)



子そだてマナビィ

検索

申し込み受付

令和5年12月11日(月)～令和6年1月19日(金)

抽選結果のお知らせ

令和6年1月22日(月)～1月26日(金)

お申し込み

(①または②の方法で、お申し込みください)

- ①市ウェブサイトのお申し込み用メールフォーム
- ②電話 (☎083-934-2866)

※お申し込み多数の場合は抽選で受講者を決定します。

抽選結果は当落どちらでもご連絡いたします。期間内に結果が届かなければ、お問合せください。



家庭教育応援サイト 子そだてマナビィ

お問合せ先【山口市教育委員会 社会教育課 (☎ 083-934-2866)】

【大歳地区1月の行事予定】

- 4日(木) 燃やせないごみの日
- 5日(金) 七草がゆ試食会(11:00～13:00)
- 12日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)
- 14日(日) どんど焼き(10:00～14:00)
- 15日(月) 金属・小型家電製品の日
- 18日(木) 健康チェック・健康相談会
(受付 10:00～11:00)
- 19日(金) 子育てサークル太陽クラブ(10:00～)
パソコン相談(受付 10:00～10:30)



- 20日(土) みんなのひろば(13:30～15:30)
- 22日(月) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)
- 24日(水) びん・缶の日
- 26日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)
- 29日(月) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)

※木曜日はプラ容器包装分別収集



中野悟一と藤田伝三郎

これまでは「県令・中野悟一」としてきましたが、藤田伝三郎との関係は県令辞任後の商業活動が中心ですから、県令を外しました。藤田は天保12年、中野は天保13年生まれですが、今風に言えば、早生まれの中野は藤田と同級生となります。中野の日記には藤田は1度しか登場しません。明治7(1873)年の3月に矢野や藤田等と面会し、「残米は示談の上で」と述べた吉富簡一宛ての手紙を矢野に託したとあります。おそらく先収会社で扱う地租米の事と思われるから、藤田は先収会社に入社していたのでしょうか、とても県令様と意を通ずるような関係ではありませんでした。

藤田伝三郎は萩で醸造業を営む藤田半右衛門の四男として生まれ、奇兵隊に入隊したと本人は主張していますが、名簿には載っていません。もっとも武士風に変名して登録することも多いのですが、伝三郎と確認してくれる知人がいないということは無名のまま短期間でやめたのか、参加の実態がなかったかのどちらかでしょう。つまり幕末期に活躍の場がなく、先収会社に入社前後から商取引の分野で頭角をあらわした戦後派と言えます。

先収会社が解散すると、吉富簡一なき後の大阪支社を藤田に任せて大丈夫かと心配していた井上馨にとって、新しい難題が降りかかります。県令・中野が、後妻せきが難産で死亡すると、すっかり政治がいやになり、先妻の子どもたちが暮らしている大阪の先妻の実家に居座って、県令を辞めると言い張る事態が生まれたのです。その解決策が井上らしく、中野の辞任を認めた上で、井上の代理人として中野を藤田組に入れ、かつ、先収会社を藤田組に引き継がせたのです。中野は顧問格ですが、親会社の目付みたいな存在で、藤田は大いに気を使います。この時、大阪堂島の米商会所の筆頭株主は「岸本かな」でした。彼女は中野の先妻の母ですから、中野のダミーにすぎません。米商会所株の多くも藤田から譲られたもので、中野売り出し作戦の一端と考えれば、その関係がよくわかります。

当時大阪の最大の悩みは東京に追い抜かれ続けている状況をどう打開するかでした。江戸時代、京・大阪は上方と言われ、商品は江戸に下くだっていました。「下らないもの」とは、江戸周辺で作られた地場商品のことで、つまらないものを示す悪口ともなりましたから、京・大阪の商業の優位性はあきらかでした。ところが、政府のある東京で次々新しい事業が広がるのですから、対抗するためには旧薩摩藩士・五代友厚や井上馨に近い中野や藤田のような政商的存在が大阪立て直し策の中心となっていきました。そんな所に、明治11(1878)年、藤田組贖にせさつ札事件が起こり、講談にまでなって、全国に語り伝えられ、藤田は悪者として、その名を全国に轟かせてしまい、藤田も中野も収監されてしまいます。

贖札事件の疑いが晴れた後の明治16(1883)年、中野は突然、猟銃自殺をしてしまいます。

米相場での失敗、鹿児島への山鉾購入での目利きの失敗など様々なうわさが流れましたが、実相はよくわかりません。ただ、五代や藤田に伍して活躍していたはずが、徐々に商取引や事業選定で水をあけられたことへのうっぷんも自殺の引き金となったのかもしれない。他方、藤田伝三郎はその後も大阪財界の中心として、多くの事業を成功させ続けています。

(史談会：文責 武波義明)



藤田伝三郎